

墨田区オリンピック・パラリンピック地域協議会  
会議録

■会議名

第 8 回 スポーツ・健康部会

■日 時

令和 3 年 11 月 16 日(火) 18時00分～19時00分

■会 場

墨田区役所1階 すみだリバーサイドホール会議室

■出席団体

- ・【部会長】墨田区体育協会
- ・(一社)日本ボクシング連盟
- ・東京ガス(株)
- ・墨田区環境衛生協会
- ・(株)DANGAN
- ・墨田区スポーツ推進委員協議会
- ・アルケア(株)
- ・東京マラソンを招致する会
- ・ナガセケンコー(株)

計 9 団体

■会議の概要 【会員の意見】○:部会員 ◇:区・事務局

- 1 東京 2020 大会に関する報告事項
- 2 今後の取組みについて
- 3 次回の開催について

(東京 2020 大会に関する報告事項)

- 所属選手は選手村での不慮の事故により東京 2020 大会を棄権したが、既に練習を再開できており、同企業に所属するもう一人の選手とともにパリ大会を目指している。
- 理容師や美容師が選手村内のヘアサロンで各国アスリート等に向けたボランティアを行った。選手村オープン 1 週間前から 9 月 8 日までの期間を実施して、理容・美容を合わせてオリンピック期間中に 2200 名、パラリンピック期間中に 1550 名に対して施術を行った。
- 会員が東京 2020 大会のシティキャスト・フィールドキャストとして参加した。パラリンピック期間中の従事が多く、その中でパラリンピアンから学ぶことが多かったため、障害者スポーツの普及をより一層行いたいと思っている。
- 所属する選手が、パラリンピックの水泳、男子 100mバタフライ(S11)金メダル、男子 100m平泳ぎ(SB11)銀メダル、男子 200m個人メドレー(SM11)5 位入賞した。
- ボクシング競技の日本代表選手は、金メダルが1人、銅メダルを2人が獲得し、同一大会でメダルを 3 つ獲得することは日本ボクシング史上初である。また、大会後にセルビアで開催された男子世界選手権大会においても、2人の選手が金メダルをそれぞれ獲得し、これも史上初の快挙である。

(今後の取組みについて)

地域協議会は、来月 23 日に予定している総会をもって解散することになる。スポーツ健康部会として、大会後もレガシーとして「スポーツ振興」「パラスポーツ普及」「健康向上」などを残していくためには、どのような取組み、活動場所、頻度で行っていくべきか。活動継続に向けた意見を伺った。

- 理容・美容・浴場の組合が加盟しており、主としてイベントがある土日の参加は難しい。スポーツ健康の分野で協力できる部分はあると思うので、当日の協力は難しくても準備等での協力は考えられる。

○スポーツ実施率向上とパラリンピック競技普及を目指しており、皆様の協力が必要である。パラスポーツの普及を重点的に行いたいと考えている。すみだまつりのような年1回の大きなイベントに限らず、地域に密着した小さなイベントなどで競技体験等を実施しても良いと思う。ボッチャ等は手軽に多くの人が体験できるので、普及に向いている。

○これまで会社として共生社会に向けた取組みを行ってきた。すみだまつりの出展でもパラスポーツ体験物資(ボッチャ・競技用義足体験等)の貸出等の実績があり、今後も同様に協力していきたい。10月頃は特にイベントが多いため、年1回くらいの頻度であれば対応可能である。

○所属アスリートによる学校向けの『人権養成講座』も反響が良く、小中学校を通じた教育に力を入れていきたい。また、すみだまつりの出展では選手による体験等でも協力をしていきたい。

⇒◇区の人権部門がアスリートによる人権啓発活動を行ってきた実績があり、そうした部門との連携も可能か？

⇒○会社として地域貢献を強化しており、前向きに検討したい。

○個人の集まりであるためマンパワーとしての協力は難しい。すみだまつりのような年1回くらいの活動であれば協力可能である。また、既存のイベントと一緒に実施することが望ましい。ボッチャは親しみやすいスポーツのため、区では貸出事業をレガシーとして位置付けてはいかかがか。現在、区でボッチャの貸出を行っているか？

⇒◇スポーツ振興課では福祉施設や学校などへ貸出をしているが、ボッチャは障害者スポーツの入り口としても良いため運用の仕方について考えていきたい。

○ボッチャの取扱を行っており、協力できる。ボッチャはイベントでの体験に向いている。

○今年11月24日から28日に全日本選手権大会を墨田区総合体育館で実施する、毎年この時期に墨田区での開催を考えている。

また、11月初旬に第1回全日本マスボクシング(『こぶしを対戦相手に当てないボクシング』)大会を開催し、100名程が参加した。ボクシング競技は10~20代の選手がメインとなるが、本大会は10代から70代まで幅広い世代や、網膜剥離等で引退した選手なども出場しており、様々な層に向けた普及ができると考えている。

○すみだまつりでミット打ち体験やグループレッスン等の協力をしたが、今後もこうした取組みを継続していきたい。企業等でボクササイズなどの研修依頼などが来ており、ストレス発散等の健康増進効果が高く、女性に人気があり、ボクシングを通じた普及啓発を行いたい。

### **(結論)**

・レガシーとして本部会の取組みを発展させていきたい。

・新たな組織の名称・体制は、今回の意見を踏まえて区に任せる。

・今後の活動内容については、区の予算審議後に検討する。

・欠席している部会員に対して、今後の活動継続意向について、区から確認する。

⇒部会長が出席者へ確認をとり、異議なしであった。

### **(次回の部会開催について)**

・区の予算審議後となる来年3月中旬以降の日程で、スポーツ振興課より開催について連絡をする。